

# 学校だより

令和2年3月4日 臨時号

## 京都市立京北第二小学校

京都市右京区京北塔町中筋浦8-1

TEL.075-853-0002 FAX.075-853-7100

## 第2回学校評価から

### 学校教育目標

京北地域の主体者として、伝統と文化を受け継ぎ、  
自らの進路と未来を切り拓いていける子どもの育成

### 【めざす子ども像】

- 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ふるさとを愛し、思いやりのある子
- 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

本校教育活動を振り返り、新校での教育活動を充実するために、今年度2回目の学校評価アンケートを実施しました、お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

学校だより臨時号では、学校評価特集として、アンケート結果から焦点化して分析・考察したものを取り上げています。この内容をもとにして、今後もよりよい教育活動を推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

尚、アンケート結果の詳細につきましてはホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

### 学校生活

## 友達を大切にしていますか



「友達に嫌なことを言ったり、したりせず、相手の気持ちを考えて、行動していますか」については、前期に比べ、CDの合計が7%増えています。前期に比べ、学級の人間関係が深まってきたことも影響していると思いますが、違う見方をすれば、相手の気持ちを考えられていなかったと自覚できている児童が増えてきたともとれるのではないのでしょうか。ただ、自覚できたならば、次には繰り返さないことが大切になってきます。自分の気持ちを

どのようにもち、どう表現すればいいのか、そこが問題となり、指導の必要なところだと考えています。新校では、学級の人数が増えます。当然その学級の中には、気の合う仲間もいれば、そうでない仲間もいると思います。気の合う仲間といい関係をどのように維持すればいいのか、そうでない仲間とどう接すればいいのか、そんなことを考え、経験することができるのも学校教育の良さです。児童が自分らしく、周りの仲間とよりよい関係が築けるように適切な指導をしていきたいと思っています。そのためにかかせないのが、保護者の皆様との連携です。児童の気にかかることを情報共有し、児童へのおもいも共有していきたいです。

### 学習

## 自分のおもいや考えを表現する



前期の評価でも取り上げたように、授業の中で自分のおもいや考えを表現することはとても重要であると考え、取り組んできましたが、アンケート結果は前期と比べ大きな変化はありませんでした。新校になり、学級の人数が増えることで、自分とは違う考えをもつ仲間が増えていくでしょう。そうした仲間と互いの意見を吟味、検討し合うことができることは、これからの社会に生きる児童にとって欠かすことのできない力となります。話し合いの態度も含めたスキルを身に付けられるように指導を工夫していきたいです。

### 家庭生活

## 約束をつくる・守る



「お子たちはテレビゲーム・情報通信機器の時間や約束を守っていますか」について、保護者でAが増えましたが、Dも増えました。対して児童ではCDが減り、それぞれ2%となっています。多くの児童の認識は、約束をちゃんと守っています、ということです。児童の会話を聞いているとユーチューブの話題が少なからず出てきます。それがだめだというわけではありませんが、私たちが不安に思うのは、児童が見ているユーチューブのコンテンツについて、保護者は把握されているのかな、ということです。ただ、近い将来児童がユーチューブでどのような内容のものをしているのか、SNSで誰と繋がっているのか、すべてを把握するのは難しくなってくることは明らかです。そして、その時に児童が自分で立ち止まって、判断する力が必要なことも明らかです。こ

うした力は勝手には付きません。新校でも情報教育や情報モラル教育に力を注いでいこうと考えています。ご家庭でも、おうちでの約束を作って、それを守らせることで、児童に立ち止まって考える習慣をつけさせてほしいです。

## 子どもとの対話やふれあいの時間

「お子たちとは家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふれあいの時間をもっていますか」について、CDの合計が保護者が3%（D0%）に対して、児童は21%となっています。CDと答えた児童は高学年に多いのかと思い、詳しく調べてみると、全学年に2、3名ずついました。ただ、この分析は難しく、単純にもっと一緒に遊んでほしいと思っている児童もいるでしょうし、特にそうしてほしいとも思っていないという児童もいるでしょう。前者については何とか時間をつくってかわりをもていただきたいところですが、後者については時間があればいいというものでもありません。ただ、わたしたち大人は、気にはしているということをサインとして送り続ける必要はあると思います。そうした時に役立つものとして学級便りやホームページでの発信を続けていきたいと考えています。

### 学校・保護者・地域との連携

## 連携で安全を守る

児童においてCが4%とDは0%となりました。多くの児童が地域や近所の人とあいさつ等ができていると自覚していることはとても良いことだと思います。児童が地域の人を知り、地域の方が児童のことを知る。そして、あいさつを交わし、時に会話もする。これは防犯の上でも、とても大きな力になっていると思います。4月からは、児童の通学の様子が変わります。バス停までの道のりの児童の様子をぜひ見守っていただきたいですし、できればあいさつをしていただけると本当にありがたいです。学校では見知らぬ人と話さないように指導していますが、知っている近所の方、地域の方とはあいさつをすることを指導していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### その他

「学校運営」のアンケート結果や「保護者アンケート自由記述」の貴重なご意見も、新校での教育活動に生かしていきたいと考えております。ありがとうございました。



